

総合計画審議会の評価

- ・ 2009 年度における戦略プロジェクトに掲げられた数値目標の達成状況は、実績が把握できた 49（全体は 78）の数値目標のうち、達成率が A のものが 32、B のものが 14 と、A と B の合計では 46 であり、概ね良好だったといえる。
- ・ また、各戦略プロジェクトの目標の達成状況を、様々なデータや事業の実施状況から分析した県の総合分析については、概ね妥当であると考えられる。
ただ、産業・労働分野では、経済危機を踏まえて今後の神奈川県経済を展望すると、県として戦略をもって国際的な動きを捉えた産業づくりが必要なこと、教育・子育ての分野については、厳しい経済状況の県民生活への影響を踏まえて、待機児童の増加に対する保育所等の量の整備・質の向上、親の生活環境や経済状況を鑑みた子どもたちへのきめ細かい対応など、分野ごとにそれぞれ対応が必要な課題があり、二次評価で指摘したところである。県としてしっかりとした取組みをお願いしたい。
- ・ なお、こうした課題への対応にあたっては、厳しい財政状況も考慮して、これまでの手法にとらわれることなく、民間との連携や事業実施上の工夫を一層進めていただくことはもとより、従来の縦割りではなく、様々な分野の施策・事業の組み合わせや複数の組織による一体的な取組みなど「横断的な対応」について積極的な対応を期待したい。